

## 高崎宿



江戸から第十三番目の宿場。高崎城の城下町。本陣・脇本陣は設置されなかった。城下の本町・田町・新町では六斎市（月に6回の市）が開かれ、合わせて18回もの市が立ち、問屋、仲買の大商店が並ぶなど、商業で賑わった。越後へ向けた「三国街道」との分岐にもあたり交通の要衝でもあった。

町並の長さ	22町11間
人口	3,235人
総家数	837軒
本陣	—
脇本陣	—
旅籠数	15軒

## 倉賀野宿



江戸から第十二番目の宿場。利根川水系最上流の河岸があり、牛馬で運ばれてきた上信越の物資が、ここから舟積されて江戸へと運ばれ、水運の要所として栄えた。また、日光東照宮の徳川家康命日の大祭に派遣される朝廷からの勅使が通る「例幣使街道」の分岐点でもあり重要な宿場であった。

町並の長さ	9町16間
人口	2,032人
総家数	297軒
本陣	1軒
脇本陣	2軒
旅籠数	32軒

## 新町宿



江戸から第十一番目の宿場。本庄宿と倉賀野宿間は、元々、玉村の地を經由するルートだったが、加賀藩前田家が新道を開拓し、新しい宿場として整備された。地名は、甲州街道の「新宿」と同様、中山道の中で最も遅く成立した新しい町ということに由来する。

町並の長さ	11町38間
人口	1,437人
総家数	407軒
本陣	2軒
脇本陣	1軒
旅籠数	43軒

軽井沢宿

坂本宿

松井田宿



## 名所図画(見どころ)



1 横川駅

「峠の釜めし」で有名な駅。駅前にその製造元がある。かつては軽井沢へ向けた碓氷峠越えの拠点。



2 碓氷関所跡

江戸幕府によって設置された関所。関東入国の関門として、箱根と並んで厳しく監視された。



3 佐藤本陣跡

坂本宿にあった2軒の本陣のうちの1つで、上の本陣と呼ばれた。坂本小学校校舎の地の碑が立つ。



4 旅籠かぎや跡

坂本宿の面影を残す代表的建物。坂本に移住した高崎藩の納戸役鍵番武井家に因んで名付けた。



5 めがね橋

明治25年に完成した煉瓦造り4連アーチ式の鉄道橋。近代化遺産として、我が国初の国重要文化財。